



令和8年度 『全国学力・学習状況調査』の結果について

この調査は、児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握し、対象学年及び他の学年の学習指導の改善・充実等に役立てることを目的として実施されています（小学校は6年生対象）。本校でも今回の結果をもとに実態把握や分析を行い、今後の教育活動に生かしてまいります。

なお、本調査は学習内容のすべてを網羅したものではないこと、また本校は小規模校のため児童1人当たりの回答が全体の割合に大きく影響し、全国平均との差が開いて見えやすい傾向があることをご承知おきください。

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率）〔小6〕

教科	松野尾小	新潟県	全国
国語	61	58	60.9
算数	57	55	56.4

1 各教科の正答率の傾向と分析

【国語】

全13問中、全国平均を上回ったのは5問、下回ったのは8問でした（平均正答率は全国比+0.1）。

● 全国より正答率が高かった主な問題（強み）

- ・設問2一（文章の工夫を選択）：自校 81.3% / 全国 57.9% (+23.4%)
- ・設問1一（構成メモの工夫を選択）：自校 87.5% / 全国 73.9% (+13.6%)
- ・設問3一（文章の特徴を選択）：自校 87.5% / 全国 76.7% (+10.8%)

◎特徴：文章全体の組み立てや、「どうすれば相手にうまく伝わるか」という工夫を捉える選択式問題において、大きな強みが見られます。

● 全国より正答率が低かった主な問題（課題）

- ・設問2三イ（漢字の書き取り「ふしぎ」）：自校 25.0% / 全国 45.2% (-20.2%)
- ・設問3二（メモの整理の仕方の選択）：自校 43.8% / 全国 55.6% (-11.8%)
- ・設問2四（情報の抜き出し・記述）：自校 25.0% / 全国 33.5% (-8.5%)

◎特徴：漢字の定着度や、与えられた複数の情報・メモを正確に整理して読み取り、まとめる記述・短答形式に課題が見られます。

<今後の取組>

1. 漢字や言葉を「文脈の中で正しく使う」力の育成

単に漢字を覚えるだけでなく、文章の中で正しく使えるよう、短文づくりや穴埋め問題などを通じて知識の定着を図ります。

2. 複数の情報やメモを「整理してまとめる」学習

メモや話し合いの記録など、いくつかの情報を照らし合わせながら大切なポイントを整理して共通点を見つけたり、自分の考えを書いたりする学習を大切にしていきます。

3. 条件に合わせて「自分の考えを書き表す」学習

自分の考えや理由を伝える記述問題において、「設問に合う文になっているか」「指定された言葉を使って分かりやすく書けたか」などのセルフチェックやペアチェックの習慣を身に付けていきます。

【算数】

全 16 問中、全国平均を上回ったのは 9 問、下回ったのは 7 問でした（平均正答率は全国比 +0.6）。

・ 全国より正答率が高かった主な問題（強み）

- ・設問 1(1)（立方体の体積を求める式）

：自校 93.8% / 全国 72.7% (+21.1%)

- ・設問 3(4)（ $5/3$ を表す数直線上で「1」の目盛りを選ぶ）

：自校 87.5% / 全国 68.1% (+19.4%)

- ・設問 2(2)（割合と比較量から基準量を求める式と答え）

：自校 68.8% / 全国 53.1% (+15.7%)

◎特徴：基本的な公式の適用、視覚的な図や数直線・グラフを用いて数量を捉える学習の定着が見られます。

・ 全国より正答率が低かった主な問題（課題）

- ・設問 4(1)（二つの表の不整合発見と根拠記述）

：自校 25.0% / 全国 56.2% (-31.2%)

- ・設問 1(2)（直方体の構成面の縦・横の長さ）

：自校 43.8% / 全国 63.0% (-19.2%)

- ・設問 2(4)（1.5 倍の割合を表す図の選択）

：自校 18.8% / 全国 34.2% (-15.4%)

◎特徴：二次元の表などの複合的なデータから情報を読み取る問題や、空間図形（展開・面の関係）の理解において課題が見られます。

<今後の取組>

1. 複数の表や図（二次元の表など）から必要な情報を読み取る力

二つの表を照らし合わせ、「どこに注目すればよいか」を整理して正しく読み取る問題に丁寧に取り組んでいきます。

2. 図形を頭の中で組み立てたり、関係性を捉えたりする力

直方体の面の関係や割合を表す図など、具体物や作図を活用して「図形の性質や量の関係」を感覚的に捉える活動を増やします。

3. 日常の事象（概数など）を数学的に処理する力

四捨五入して概数で表す課題など、学習した知識を実際の生活場面でスムーズに使いこなせるよう復習を徹底します。

2 児童質問紙 回答の傾向と分析(カッコ内は肯定的回答の割合)

<全国を大きく上回る点(強み)>

- ・ **心理的安全性と多角的な学びの保障**
 - ・「学級で違う意見を言っても否定されないと思う」(93.4%/全国69.6%:+23.8%)
「自分と違う意見について考えるのは楽しい」(**93.4%** / 全国 77.9%:+15.8pt)
このことは、互いの考えを尊重し、安心して発言・議論できる温かい学級風土が育っていると考えられます。
 - ・「課題解決に向け、自ら取り組んでいた」(**93.3%** / 全国 77.6%:+)
「学んだことを実生活等に生かせると思う」(**100.0%** / 全国 80.8%:+19.2pt)
このことから、主体的な学びの姿勢が見られます。
- ・ **ICTの日常的活用と英語教育の充実**
 - ・「授業でのPC・タブレット活用」(**73.4%** / 全国 43.0%)
全国を30pt以上上回り、宿題や探究学習での端末活用が非常にスムーズです。
 - ・「将来的に英語を活用したい」(**73.3%** / 全国 45.4%)
「授業外での英語活用機会」(**73.4%** / 全国 46.2%:+27.2pt)
この2点が高いことは、外国語への意欲・関心がきわめて高い状態が伺えます。
- ・ **児童への承認と充実した学習指導**
 - ・「授業で先生が自分の良さを認めてくれている」(**93.3%** / 全国 78.1%:+15.2pt)、
「自分に合った教え方や教材になっていた」(**93.3%** / 全国 80.8%:+12.5pt)
この2点が高く、一人一人のきめ細かな指導が自己肯定感につながっています。

<課題と今後の重点取組項目(全国を下回る点)>

- ・ **家庭での学習・読書習慣の定着**
 - ・「学校の授業時間以外の1日の読書時間(30分以上)」(13.3% / 全国 11.9%:-11.9pt)
「休日の学習時間(2時間以上)」(13.3% / 全国 17.1%:-3.8pt)
「平日の授業外学習時間(2時間以上)」(13.3% / 全国 21.6%:-8.3pt)
休日、平日の学習時間や平日の読書習慣に低調さが見られます。
 - ◎対策:ICT端末を活用したデジタルライブラリーの推奨や、短時間で取り組める家庭学習(10分ドリル・自主学習等)の習慣化を図ります。
- ・ **家庭との悩み相談・コミュニケーション**
 - ・「学校での悩みについて家族と話すか」(13.4% / 全国 35.5%:-22.1%)
 - ◎対策:学校での様子や頑張りを「学校だより」「学級通信」等で積極的に発信し、ご家庭で会話のきっかけにいただける環境づくりを推進します。
- ・ **算数の思考スピードと主体的な学びの工夫**
 - ・算数テストでの「解答時間の十分さ(68.8% / 全国 86.0%:-17.2%)」
「自立的な学び方の工夫(66.7% / 全国 79.4%:-12.7%)」
自立的な学習方法の工夫に課題が見られます。
 - ◎対策:計算の習熟・立式スピードの向上とともに、自らの学びを振り返るシートの活用を強化します。

3 おわりに

本校の児童は、「温かい学級風土と心理的安全性」のもと、授業での対話的・探究的な学びやICT機器の活用に非常に前向きに取り組んでいます。特に、互いの意見を認め合う姿勢や、英語学習・ICT活用への高い関心は本校の強みです。

今後は、学校での学びを一層充実させるとともに、家庭学習へのスムーズな接続や保護者の皆様との連携を深め、児童の自立的な学習能力と健全な生活習慣の定着を図ってまいります。ご家庭におかれましても、日常の読書活動や「今日学校でどんなことを学んだの?」といった会話を通して、お子さんが自分の言葉で伝える機会を温かく見守っていただけますと幸いです。

(研究主任 小林 タ紀)

11月の行事予定

2 (月)	文化祭 振替休業日	10 (火)	避難訓練 (不審者)、5学年PTA行事
3 (火)	文化の日 (祝日)	13 (金)	なかよしタイム
4 (水)	Well-Being Day 下校 13:15	16 (月)	委員会④
6 (金)	就学時健診 下校 15:05 (5年) 下校 12:55 (1~4・6年)	18 (水)	Well-Being Day 下校 13:15
9 (月)	クラブ④	23 (月)	勤労感謝の日 (祝日)
		25 (水)	生活アンケート&お話タイム